



発行所
〒542-0065
大阪市中央区中寺 1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会
従事者部会
発行人 二上 英樹

『楽しく、人とのつながりを ～全国で大阪だけの部会～』

新型コロナウイルス感染症問題について、マスクの着用基準緩和、法律の位置づけが2類から5類に変更となったとはいえ、福祉の現場は今もなお緊張感のある状況下にあります。従事者部会は昨年度、約3年がかりで準備を進めていた発足70周年記念誌の完成、Instagramの開設と、新しい一歩を踏み出しました。

部会運営の柱である研修事業でも、部会史上初となるオンライン研修・オンデマンド配信型研修を実施したところ、予想をはるかに上回る参加の申し込みをいただきました。

Instagramでは、従事者部会の取り組みの案内・報告はもちろんのこと、他部会の研修案内やイベントの告知、また人材確保に向けた情報の発信等をすすめていくなど、試行錯誤しながら取り組んでおります。駆け出したばかりですが、たくさんの方々に従事者部会を知っていただきたいと思うのと同時に、社会福祉に関心のある学生の皆さんにもご覧いただきたいと願っています。

従事者部会のいいところは、『楽しく、人とのつながり』を大切にしながら今まで歩んできたことです。ご参加いただければ、その時に必ず多くの出会いがあり、他種別で働く仲間との交流ができます。これこそが今の時代、施設職員には特に必要なことであり、また大阪の社会福祉の強みだと私は考えています。

施設職員の皆さますべてが従事者部会の会員です。ご参加いただけたら必ず楽しさがわかってもらえると確信しています。

今年度も積極的な参加をお待ちしています。

従事者部会の
ホームページ
はこちら!!



今年度から、従事者部会の副部会長をさせていただきます、児童養護施設生駒学園の小田秀治と申します。

全国で唯一の部会であり、70年という歴史ある部会でもあるので、身の締る思いであります。

今春にはようやく、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが2類から5類に引き下げられ、表向きには以前の生活に戻りつつありますが、人と接することを生業とする福祉業界では、喜ばしいばかりではないことも認識しています。

災害や病などでは、医療はもとより、福祉もその役割を十分に果たしてきました。

当部会も今後の役割を担うべく、常任委員やみなさまと一緒にその責務を果たし、次の世代へ引き継いでいきたいと思っています。



副部会長
生駒学園
小田 秀治
おだ ひではる

マナー研修

○日時

令和4年7月26日(火)

○講師

Brush Up Production ANys

代表 島津 ゆう子 氏

○テーマ

- ①「コロナ禍で増えた電話・メール・LINEの今さらきけない基本ルール」
- ②「変化適応力～ノンバーバル(非言語)コミュニケーションの重要性～」



講師の島津ゆう子氏

午 前 の 部

今回のマナー研修では、主に電話やメール等のコロナ禍により増えたオンラインでのマナーについて学びました。

私は、今までマナーについて自分なりに配慮できていると考えていました。しかし、この研修を受けて、間違ったマナーで対応していたことに気づきました。

対面での対応と違い、顔が見えないことが原因で、声や文章だけで自分のイメージが変わってしまうことを実感しました。特に電話対応では、その会社の代表として対応することに改めて気づかされました。

講師である島津ゆう子氏の「自分の常識は相手の非

常識」という言葉は、自分の行動を見つめなおすきっかけとなりました。今まではあまり相手の環境を考えず、自分の都合で動くことが多かったのですが、これからは相手の都合を考えて行動しようと感じました。

また、島津ゆう子氏は「忠恕の心」も大切だとおっしゃっていました。「忠恕の心」は相手も自分も大切にする心です。相手だけでなく自分も大切にすることが大切だと知りました。これから、オンラインでも対面でも対応が増えてくるので、「忠恕の心」を意識して取り組もうと思いました。

(南河学園 青木幸宗)

午 後 の 部

前回、島津先生の『電話・メール・LINEの基本ルール』がとてもわかりやすく実践できる学びが多かったので、今回は後半の研修を受講しました。お話を聞きながら「たしかに」と反省したのが、「マスク越しの表情は分かりにくく、目などの表情だけで相手の気持ちを決めつけてしまうのはキケン」だということです。

私は特養で勤務していますが、新人職員の研修に立ち会う時、その方の目の表情だけで「やる気が無いんじゃない?」とか「よく理解してそう」など決めつけから入ることがありました。非言語的コミュニケーションの場合、自分の価値観で決めつけてしまいがちなので気をつけようと思いました。

また『文化の違い』にも注意すべきであり、日本人同士でも『価値観の違いからくるすれ違い』があるのだから、国が違えば文化の違いがあるのは当然で、施設で働いているベトナム人留学生の気持ちを憶測で決めつけるのはやめようと思いました。逆に、自分も相手に間違っ気もちを伝えてしまうことがあるのだと再認識しました。

私の言葉のクセが相手に不信感や不安感を抱かせる可能性があるので、非言語的コミュニケーションで自分の言葉を補えるよう努力し、相手との信頼関係を築けるようになりたいと思います。

(横塚荘 上原 栄里奈)

『Instagram を開設しました!』

研修の案内・報告や、各部会からのお知らせなど、福祉施設従事者の皆さまにとって役立つ情報を発信しております。

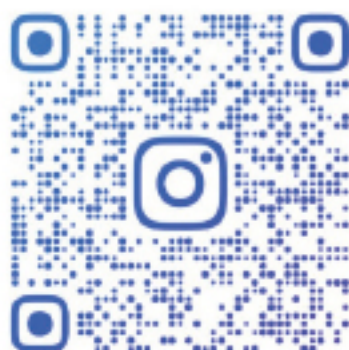
これからも福祉の魅力を発信してまいりますので、是非「いいね」「フォロー」をお願いいたします。

ご意見などがございましたら、下記事務局へお問合せください。

#大阪府社会福祉協議会 #従事者部会

▼ Instagram アカウントはこちら！

@jyujisyabukai



『従事者部会 70 周年記念誌 連繋 ～つながり～』

従事者部会とは、大阪府社会福祉協議会の所属施設で構成される7つの部会（保育部会・老人施設部会・児童施設部会・母子施設部会・成人施設部会・セल्प部会・医療施設部会）の福祉従事者が、種別を超えて、意見交換やスキルアップのための研修企画をおこなう大阪独自の組織です。

本会の設立は1952年。令和4年で70周年をむかえ、『従事者部会 70 周年記念誌 連繋～つながり～』を発行しました。

ホームページにも記念誌のデジタル版を掲載していますので、ぜひご覧ください！

▼ホームページはこちら！

<http://www.osakafusyakyo.or.jp/jujishabukai/>



研修レポート

第1回 集団指導者養成教室

○日 時

令和4年7月6日(水)

○テーマ

『職員間のコミュニケーションとメンタルセルフケア』

○講師

親と子のメンタルヘルス研究所 所長 きしもと げんき 岸本 元気 氏

仕事上でのストレスで一番多いのは「人間関係」と思っていました。しかし、今回の研修で、それが間違いであったことに気付きました。仕事上でストレスが溜まる要因は、脳のメカニズムから生じます。子どもと関わる仕事であるため、職員は決断・判断することが必要になります。この回数が増えることが、ストレスの増加に繋がります。

自分一人での決断が難しい時には、まず上司に連絡・相談し、最終的にどうなったのか報告をする。こうするとスムーズに解決できるということを学びました。

自分が現在働いているユニットでは、一人で勤務をする

時間が長く、そのため、自分で判断しなくてはならないことが多いです。だからこそ、迷うこと、分からないことがあれば、すぐに横のユニットの職員や上司に相談しています。

これからもコミュニケーションとメンタルヘルスケアについて意識しながら仕事に取り組もうと思いました。

今回学んだことを業務に活かしながら、さらに本や研修での学習も重ね、スキルアップを目指していきます。

(あおぞら 友口 諒紀)



講師の岸本元気氏

第2回 集団指導者養成教室

○日 時

令和4年11月14日(月)

○テーマ

『みんなで助かる！ 福祉×防災×コミュニティ
個別避難計画の全体像を福祉BCPから考える』

○講師

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会
福祉防災上級コーチ ゆぐい えみこ 湯井 恵美子 氏

研修の前半部分で、先生から「あなたの近くに子どもがいて、周りに隠れることができそうな場所はありません。そのような場所で大きな地震があったら、あなたはどうしますか」という問いかけがありました。大半の方は「覆いかぶさって子どもを守る」と答えるのではないのでしょうか。そのような答えに対しての、「それでは大人が怪我をしてしまう。『防災』とは自分も相手も両者を守ることです」という先生の言葉が印象的でした。

研修後半は、グループワークを通しての実践形式でした。

テーマは、福祉避難場所の開設です。施設の建物構造や

部屋数、備蓄品リストなど情報は多岐にわたります。避難される方の年齢や性別もさまざまです。そのような状況の中で、グループで意見をすり合わせ、方向性を固めました。

「実際の現場では、研修の比にならないスピード感をもって決断を迫られることがある。だからこそ、日頃からの準備がとても重要」という総括に深く納得しました。今回、湯井先生の研修を受講させていただき「防災」へのイメージが大きく変わりました。貴重なお話、どうもありがとうございました。

(聖ヨハネ学園 原田 翔太)



講師の湯井恵美子氏

第3回 集団指導者養成教室

○日 時

令和5年1月18日(水)

○テーマ

「職場作りとスーパービジョン ～社会福祉実践の「価値や倫理」を共有して、やりがいをもって働き続ける仲間と職場をつくるために～」

○講 師

同志社大学 社会学部 社会福祉学科 教授 空閑 浩人氏

近年は種別を問わず、福祉業界全体の緊急課題として、人材確保や人材育成が必ずあがっており、私の職場（児童養護施設）でも、求人を出しても人が集まらない、採用してもすぐに辞めてしまう等、慢性的な人手不足の中で、負担が増え余裕がなくなり疲弊してしまっているのが現状です。

冒頭に空閑先生が今日の研修は休息、気分転換と思って気を楽に参加してください。この場、時間が楽しいことが大切ですと優しい語り口で話され、自然と肩の力が抜けました。

『2022年度集団指導者養成教室』

2023年1月18日(水)

職場づくりとスーパービジョン
～社会福祉実践の「価値や倫理」を共有して、
やりがいをもって働き続ける仲間と職場をつくるために～

同志社大学 社会学部 社会福祉学科
空閑 浩人（くがひろと）

オンライン研修のようす

この仕事は、一人で支援することは不可能で、「価値と倫理」を共有し、職員間の「コミュニケーション」や「チームワーク」、「スーパービジョン」さらにそれらを可能にする「人が育つ職場づくり」がとても重要であることを、さまざまな偉人、著名人、アニメのキャラクターの言葉を引用しながら楽しく学び、これからどのように考え、取り組んでいくべきか。そのヒントをたくさんいただいた、貴重な機会となりました。早速職場で実践していきます。ありがとうございました。（若江学院 土本 貴之）

防 犯 研 修

○日 時

令和5年2月14日(火)

○テーマ

防犯研修「現場の危機管理を学ぶ」

○講 師

大阪府警察本部 生活安全部 府民安全対策課、
大阪府 危機管理室 治安対策課、浪速警察署 職員10名

前半の講義では、クロスロード（ゲーム式検討会）による防犯対策、グループディスカッションを行いました。

同じ回答でも異なる意見があることを理解し、さまざまな対策が考えられることを実感しました。

どんな場面でも自分の固執した考えに捉われず、相手の意見をしっかりと聞いて対応をするよう意識づけたいです。

不審者対応として、目撃した場合は状況に応じて声かけを行う（相手にとっては嫌なことであり、トラブルの未然防止の効果がある）こと。またクレーム対応では、話を遮らず言い分をよく聞く、それが妥当であれば謝罪する。もし、言い分が理不尽である場合は耳を傾け、時折納得した素振りを見せる。毅然とした対応をし、つけ込まれないために

も要求を受け入れない、またははっきりと伝えることが大切と学びました。

還付金詐欺については、銀行で携帯操作や電話をしている場合の声かけが詐欺防止につながることもあります。

後半の実技では、“さすまた”の正しい使用方法を教えてくださいました。実際にさすまたに触れてみて、重量があり、普段から訓練をしておかなければいざという時に使えないと思いました。

今回の研修で、意見する大切さと護身について深く知ることができました。このことをふまえて、日頃から防犯について考えていきたいです。貴重な研修に参加させていただきありがとうございました。（生駒学園 柳川 菜央）



さすまたの講習



講義のようす

新・常任委員紹介

ひなぎくこども園（保育部会）

やまそ としひこ
山岨 俊彦

ひなぎくこども園は堺市南区あります。自然に囲まれた、子どもの元気な声と笑顔であふれる園です。

また、地域の世代間交流が盛んで、近年は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの交流をしてきました。

令和4年度9月から従事者部会に参加させていただいていますが、部会を通じて学んだことを現場に落とし、地域と連携をより密にしていきたいです。

まだまだ無知ですが、精いっぱい努めてまいりますのでよろしくお願いします。

太平（成人施設部会）

みやぐち ひでと
御宮知 秀登

法人入職後、救護施設で20年勤務し、現在の障がい者支援施設に異動して6年目となります。太平は和泉市の信太山に位置しており、広大な施設内

では桜をはじめさまざまな樹木や草花が四季を感じさせてくれます。

このたび従事者部会に参加させていただくにあたり、さまざまな種別の皆様方と情報交換ができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ちとせ学院めぐみの森（保育部会）

もり ゆういちろう
森 裕一郎

茨木市にある認定こども園の園長をしています。保育士として現場で長く勤めていましたが、園長歴はまだ2年の新米園長です。園では、子ども・保

護者・保育者が毎日楽しく過ごせるように日々奮闘しております。

今回、常任委員に就任させていただきうれしく思っています。自分ができることは何かを考えながら、少しでもお役に立てることができるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

南河学園（児童施設部会）

つばもと たかし
坪本 隆

南河学園は大阪府柏原市にあり、2件の地域小規模児童養護施設とあわせ定員70名の子どもたちと生活しています。

皆さまと意見交換をしながら学び、日々の業務に活かしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

博愛社いずみ（児童施設部会）

あおやぎ あずさ
青柳 梓

大阪市淀川区にある児童養護施設“博愛社いずみ”は、今年度から新設された定員24人の施設で、一軒家で幼児から高校生までの子どもを6人ずつ、日々支援しています。

施設では、「自律した社会人になるための支援」を運営方針に掲げ、個性を活かした生活を通して、自立の精神を養い、社会を担う一員に成長するように援助しています。

従事者部会では、積極的に意見交換や研修に参加し、日々の子どもの支援に生かしていきたいと思います。

翼（児童施設部会）

こじま あかり
小嵐 あかり

豊中市にあります、児童養護施設翼で勤務をしております。コロナ対応が徐々に緩和されており、施設児童や職員もマスクを外して過ごすことが増え、少しずつコロナ前の日常が見られているように思います。

従事者部会に参加させていただくにあたり、さまざまな職種の皆さまとつながり、翼にもちかえることができたらと思います。微力ではありますが、お役に立てるよう努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大阪西本願寺常照園（児童施設部会）

かわぎし としゆき
川岸 俊之

吹田市にある児童養護施設 大阪西本願寺常照園で勤務しています。

今年度から従事者部会に参加させていただくことになりました。さまざまな業種の方と交流させていただき、それを職場に持ち帰り還元できればと考えています。よろしくお願いいたします。

池島寮（児童施設部会）

おおさわ ゆうじ
大澤 悠二

池島寮は大阪市港区にある児童養護施設で、海を身近に感じることができ、子どもたちはのびのび生活をしています。

今年度から従事者部会に参加させていただくことになりました。70年続く由緒ある部会に期待と不安が入り混じっておりますが、活動を通し微力ながら部会の発展に貢献し、やがては自分自身の見聞を広め職場へ還元していけるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

あんだんて（児童施設部会）

ふくじゅく ちえ
福寿 千枝

あんだんては、岸和田学園の分園として設立され、令和2年に独立・施設化されました。2つの地域小規模児童養護施設を含め、定員32名の子ども

たちと生活を共にしています。

このたび従事者部会に参加させていただくことになり、さまざまな種別の施設の皆さまと交流できることを楽しみにしております。

学びを深めるとともに、施設や子どもたちに還元できたらと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局紹介

しおだ ちひろ
塩田 千尋とみおか きよら
富岡 きよら

全国で唯一の組織であり、70年もの歴史ある当部会に事務局として携わることができうれしく思います。

さまざまな施設種別の先生方とともに、福祉の発展のために尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

北てらかた森のこども園（保育部会）

つがわ まどか
津川 円

守口市にあります北てらかた森のこども園で勤務しております。

今年度から従事者部会に参加させていただくことになりました。さまざまな種別の方々とつながりをもち、多くのことを学ばせていただきたいと思います。歴史ある大阪福祉に、少しでも貢献できるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

みなと寮（成人施設部会）

こなか ただやす
小中 唯靖

今年度から従事者部会に参加させていただくことになりました。私は、法人本部で勤務しており、法人運営に携わっております。

従事者部会を通して、さまざまな種別・職種の異なる先生方と交流させていただき、他法人の取り組み等、学ばせていただきたいと思います。

微力ではありますが、従事者部会運営のお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

職場奮闘記

じきょう 下地 美夏子

昨年4月に異業種から福祉業界に飛び入りました。大阪自彊館に入職後、新たに開所した救護施設「JIKYO（じきょう）」でケアスタッフを務めています。

慣れない業務に右往左往しながらも、新鮮な気持ちで仕事に向き合うことを心掛けています。

日々の業務では利用者との交流から元気をもらっています。年末に行ったしめ縄飾りづくりもその一つでした。

互いに協力しながら、生き生きと取り組む利用者の姿に心が和みました。

しめ縄飾りは神様を迎える目印の意味があります。

約3年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で遮られた生活が続きましたが、しめ縄飾りを頼りに、福が招かれることを願っています。



常任委員名簿

(令和5年7月現在)

役職等	施設種別	施設名	氏名
部会長	セルフ	ワークショップかりん	二上 英樹
副部会長	保育	みどり幼稚園	橘田 浩史
	成人	じきょう	谷 茂子
	児童	生駒学園	小田 秀治
常任委員	児童	池島寮	大澤 悠二
		博愛社いずみ	青柳 梓
		聖ヨハネ学園	原田 翔太
		大阪西本願寺常照園	川岸 俊之
		翼	小嵐 あかり
		若江学院	土本 貴之
		南河学園	坪本 隆
		清心寮	井筒 貴史
		信太学園	稲富 真由美
		あんだんて	福寿 千枝
	成人	みなと寮	小中 唯靖
		フローラ	石田 大介
		太平	御宮知 秀登
	セルフ	交野自立センター	日野 信行
		おおはま障害者作業所	脇田 美樹
		こんふおーと	辻 正晃
	保育	ちとせ学院めぐみの森	森 裕一郎
		北てらかた森のこども園	津川 円
		ひなぎくこども園	山根 俊彦
		五月橋保育所	上田 規雄
		中新開さつきこども園	大東 主範
		桃の木森こども園	稲垣 美紀
		東羽衣こども園	淵上 佑樹
	老人	アンパス東大阪	吉野 真樹
		四天王寺悲田院養護老人ホーム	椿原 篤史
		庄栄エルダーセンター	神野 享士
		特別養護老人ホーム 横塚荘	上原 栄里奈
	母子	ルフレ八尾	栗田 将格

(順不同・敬称略)

従事者部会とは

“大阪府社会福祉施設
全従事者の会”

(会員施設は令和5年4月1日現在)

◎保育部会 750施設

民間保育園、認定こども園を対象とした組織。

◎老人施設部会 469施設

特養、養護、軽費、ケアハウスなどを対象とした組織。

◎成人施設部会 100施設

救護・更生施設等、身体障がい関係施設、知的障がい関係施設を対象とした組織。

◎児童施設部会 80施設

児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設などを対象とした組織。

◎セルフ部会 114施設

授産施設を対象とした組織。
SELPとは、Sサポート(支援)、Eエンプロイメント(就労)、Lリビング(社会生活)、Pパーティシペーション(社会参加)の略。

◎母子施設部会 7施設

母子生活支援施設を対象とした組織。

◎医療施設部会 21施設

無料低額診療事業施設を対象とした組織。

木洩日

来年4月からすべての介護保険事業、障がい福祉サービス事業にBCP(事業継続計画)策定が義務化されます。

令和4年度の第2回集団指導者養成教室では、防災をテーマとした研修

会を開催し、計141名の方に参加いただきました。防災意識の高まりを実感するとともに、BCP策定において地域との連携が共通する課題であることを再認識しました。

昨今、日本各地で発生している地震のニュースを聞くと、日頃の備えをしておかなければならないと感じます。

当部会では、昨年引き続き防災をテーマとした研修を開催します。ぜひ皆さまの施設の防災・BCP策定に役立てていただければと思っています。



「かがり火」キャラクター
「照子ちゃん」

また、新型コロナウイルス感染症が5類移行されたことから、部会の常任委員会を参集・オンライン併用型開催から参集型開催に切り替えました。従来通りの生活が戻ってきている反面、福祉業界では引き続き感染対策が求められる部分も多くあります。

防災や感染対策について、常に心に留めながらも、何気ない日々を過ごせることを願っています。

～令和5年度 従事者部会
研修会予定(7月1日以降)～

●第1回集団指導者養成教室

●リーダー養成研修

●第2回集団指導者養成教室

●民間共済会との共催事業

●常任委員宿泊研修会

●従事者部会人権研修会

●第3回集団指導者養成教室

現時点での予定ですので変更することがございます。

◆研修会についてのご意見・
ご感想などをお寄せください◆

〒542-0065

大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 従事者部会事務局

TEL: 06-6762-9001 / FAX: 06-6768-2426